

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
建設課  
決算書  
143p

大事業名	土地改良事務事業	款	項	目
		農林水産業費	農業費	農地費

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	環境を活かした農林業の振興		[総合戦略]	
	施策	農業の振興		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

### 1.概要

事業内容	大阪府土地改良事業団体運合会及び大阪府ため池総合整備推進協議会への負担金の支払い。
対象	大阪府土地改良事業団体運合会・大阪府ため池総合整備推進協議会
意図・目的	効率的な土地改良事務及び農業土木事務を行う。 土地改良事務・ため池の適切な管理

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 土地改良事務事業	土地改良事務、農業土木事務の適切な執行を図る。	193	267	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

大阪府土地改良事業団体運合会及び大阪府ため池総合整備推進協議会の負担であり、その運営に寄与した。

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

A

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができない
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

--

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
建設課  
153p

大事業名	土木事務事業	款 項	目
		土木費	土木管理費 土木総務費

総合計画	政策	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	安定的な行政運営の推進		[総合戦略]	
	施策	行政経営の推進		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

1.概要	
事業内容	土木事務、公用車管理に係る経費の執行。 町内における土地の保全及びその利用の高度化を目指す。
対象	住民及び職員
意図・目的	効率的な土木事務の執行。 行政活動や経済活動が効率的に行われる環境を整備し、住民の重要な財産である土地を保全する。

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特正財源
1 土木事務事業	土木事業に係る事務の適正・効率的な執行を図る。	1,207	1,117	14
2 地籍調査推進事業	毎筆の土地について、その所有者、地番、地目を調査するとともに、境界の確認及び地積に関する測量を行い、正確な地籍図及び地籍簿を作成する。	0	449	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・土木事務事業について、事務事業、工事、現場対応で適正に効率的な執行ができた。
- ・地籍調査推進事業について、今後10年間の事業方針をまとめた豊能町地籍調査基本計画を策定するとともに、次年度から着手する地域に関する法務局資料等の収集、関係土地権者の住所調査や相続調査を実施し、事業を実施するための十分な準備を進めることができた。

## 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進歩管理	無	地籍調査は専門的な知識を要する事業であるため、業務を担うことができる職員の育成と適切な人員を確保することが今後の課題。	適当な人材を確保することが困難であるため。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

令和3年度はときわ台5丁目地区において、一筆地調査、地籍細部測量及び一筆地測量を実施予定。また、課題になっている職員の育成については、国や大阪府等の研修制度を積極的に利用するなど、職員のスキルアップに努める。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
建設課  
153p

大事業名	土木災害予防事業	款	項	目
		土木費	土木管理費	土木総務費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	安全安心な暮らしの確保		[総合戦略]	
	施策	災害対策の推進		[その他]	
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進				
個別計画					

### 1.概要

事業内容	土石流テレメータ、土砂災害情報相互通報システムの維持・運用等。
対象	住民
意図・目的	地域の防災力の向上。 急傾斜地崩壊対策区域内・土砂災害警戒区域内の住民の安全・安心な暮らしの確保に寄与する。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 土木災害予防事業	町内及び広域の防災環境を維持・整備することにより、地域の防災力を向上させる。 土石流テレメータ、土砂災害情報相互通報システムの維持・運用により、地域防災力の向上に資する。	1,643	1,553	0
2 がけ地近接等危険住宅移転事業	土砂災害警戒区域内の建築物の移転等に対し支援を行う。	0	5,185	3,868

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

雨量計の情報や土砂災害相互情報通報システムの活用により、防災部局と建設部局で情報が共有でき、必要時の防災体制を円滑に行い、情報収集・警戒本部体制・現場確認・避難等の判断などに役立てることができた。また、住民周知の面ではリアルタイムな雨量表示をホームページでお知らせし、予測情報を提供できた。

急傾斜地・がけ地支援事業については、行政連絡協議会や広報とよでの周知を行った。（令和2年度は申請1件）

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	システムの老朽化。	導入年度 平成17年度（関連補助金なし）。
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 有	関係部局とのシステムの拡充及び 関係部署所管の他システムとの整 合。設備の更新。	関係部局と協議の場を持ち、整合統合を目指す。 設備の補助金要望。
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

B

- A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

大阪府のシステムの活用。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
建設課  
153p

大事業名	町道維持管理事業	款	項	目
		土木費	道路橋梁費	道路維持費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]
	施策	道路の整備改良・維持		[その他]
総合戦略				
個別計画				

## 1.概要

事業内容	町道等の機能、安全性を維持・確保するための清掃、凍結防止剤の散布等。
対象	住民
意図・目的	町道等の機能、安全性を維持・確保し、町内・町外の各地域のつながりの強化を図る。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）			うち特定財源
		R01決算	R02決算		
1 町道維持管理事業	町道等の機能、安全性の維持を確保する。	4,259	3,984		0
2 町道等維持補修事業	町道等の維持補修を実施する。	31,865	35,229		7,518
3 法定外公共物維持管理補助事業	里道等の生活道を維持し、住民の暮らしを支える。	2,665	3,658		0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

町道維持に関する業務全般について円滑に実施することにより、住民生活の安全安心に寄与した。法定外公共物（里道・水路）の維持管理事業も申請者の要望に応えることができた。交通安全施設の総点検として道路付属施設（単独柱の道路街路灯・道路標識柱）の点検を2ヶ年で行うことを計画し、1ヶ年目を行った。経年変化による道路台帳の補正・更新を行った。

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	住民による町道清掃等の維持管理が困難となってきた。	住民のさらなる高齢化。 維持管理費の予算確保が困難。
	事業内容 有	町道等施設の老朽化による維持管理費の増大。	
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

町と地域の一層の連携を強化し、地域ぐるみでの「自助」「共助」を醸成できる体制づくりの推進。  
町が実施している町道維持管理事業の啓発。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
建設課  
155p

款	項	目
大事業名 交通安全施設整備事業	土木費	道路橋梁費 道路維持費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	安全安心な暮らしの確保		[総合戦略]	
	施策	防犯・交通安全対策の推進		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

### 1.概要

事業内容	街路灯等の維持・管理。
対象	住民
意図・目的	交通安全対策の推進。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 交通安全施設整備事業	交通安全施設整備により、交通安全対策を推進する。	8,862	8,608	346

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

LED道路灯のリース料及び維持管理を行い、損傷度の高い街路灯の修繕及び手摺設置を行うことで歩行者や車両に配慮することができた。  
・街路灯建替 3基（光風台）

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	交通安全施設の維持管理費の増。	要望の多様化、施設の老朽化。
	事業内容 無		
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進歩管理 有	施設の更新に対する費用の確保。	予算確保。
	事業内容 無		
	費用対効果 有		

### 5.総合評価

B

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができない
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

交通安全確保のため、関係部局との連携強化。町全体が安全対策に対し積極的に取り組む。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書建設課  
155p

大事業名	光風台駅前エスカレーター管理運用事業	款	項	目
		土木費	道路橋梁費	道路維持費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]	
	施策	住み続けたくなる住環境の整備		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

1.概要	
事業内容	光風台駅前エスカレーターの保守管理及び監視。
対象	住民
意図・目的	魅力ある町づくり、住み続けたくなる住環境の整備。

2.構成事務事業		事業概要			事業費(千円)		
					R01決算	R02決算	うち特定財源
1	光風台駅前エスカレーター管理運用事業	光風台駅前エスカレーターの適正な日常管理及び監視			3,410	5,197	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

エスカレーターの定期的な点検を行い、適正な維持管理を行った。

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 有	緊急時の体制の構築。	
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 無	利用者の満足度や費用対効果の再検討。	利用者の減少。
	事業内容 有	メンテナンスサイクルが短いことによる維持管理費用の増大。	
	費用対効果 有		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

不具合が生じたときの連絡体制やマニュアルの構築。

来年度（令和3年度）修繕予定

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
建設課  
決算書  
155p

大事業名	道路舗装事業	款	項	目
		土木費	道路橋梁費	道路舗装費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]	
	施策	道路の整備改良・維持		[その他]	
総合戦略					
個別計画		町道舗装個別施設計画			

### 1.概要

事業内容	舗装構成の改良。
対象	住民
意図・目的	交通の円滑化を図る。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 道路舗装事業	舗装の打ち替え等の最適化を行うことで、交通の円滑化を図る。	18,914	37,969	19,938

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

個別施設計画に基づき車道部の舗装・修繕を行い、騒音・振動を抑え、車両の走行しやすい道路空間を確保できた。

- ・吉川中央線（光風台地区）A=527m<sup>2</sup>
- ・ときわ台東2号線（東ときわ台地区） A=712m<sup>2</sup>
- ・余野山手線（余野地区） A=1,030m<sup>2</sup>

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	増大する町道舗装の老朽化対策。 交付金の額が少なく予算の確保が困難。	
	事業内容 有		
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

B

- A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要  
B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

国からの交付金が年々減少しているが、限られた予算の中、優先順位をつけて対策を行っていく。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
建設課  
155p

大事業名	橋梁長寿命化等事業	款	項	目
		土木費	道路橋梁費	道路改良費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]
	施策	道路の整備改良・維持		[その他]
総合戦略				
個別計画				橋梁長寿命化修繕計画策定

## 1.概要

事業内容	町内橋梁の点検・修繕等。
対象	住民
意図・目的	安全で安心して通行できる生活道路の確保。 町内橋梁の点検・修繕を行うことによるインフラの維持を図り、町民の生活の安定に寄与する。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 橋梁長寿命化等事業	町内橋梁の点検・修繕により、安全で安心して通行できる道路を整備するとともに、有事の際の生活道路の確保を図る。	33,228	8,525	7,889

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

橋梁長寿命化修繕計画に基づき策定した橋梁個別施設計画にしたがって、橋梁の老朽化対策を行った。また5年1度の法令定期点検の2巡目を行った。

## 【老朽化対策】

- ・補修工事（九十田橋、城之下橋）

## 【橋梁点検】

- ・12橋（野間口地区ほか）

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	修繕費用の増大。	大規模橋梁（光風台大橋）の修繕時期にあること。
	事業内容 無		
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進歩管理 有	老朽化対策が必要な橋梁の増大。 担当技術者不足。	現在比較的健全度が良好な橋梁が大半である分、それらが一斉に更新期を迎える可能性がある。 現在、橋梁に関する技術者1名（コンクリート診断士）のみ。
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

老朽化対策費用は補助制度を活用しているため、適切な計画策定・執行を行い、国費の確保に努める。長寿命化修繕計画を法令点検頻度に合わせて更新・見直を行い、修繕費用の平準化により予算の確保と予防保全による対応で費用の縮減を図る。技術者不足には、地域連携プラットホームを活用し、点検から修繕への一括委託を検討する。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
建設課  
155p

款	項	目
大事業名 ときわ台駅前線整備事業	土木費	道路橋梁費 道路改良費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]
	施策	道路の整備改良・維持		[その他]
総合戦略		基本目標1 若年層が選びやすい環境をつくる (3) 公共交通の利便性の向上		
個別計画				

### 1.概要

事業内容	道路線形、道路幅員、縦断線形等の測量。 各箇所の問題点の改良等基本検討設計の実施。
対象	住民
意図・目的	能勢電鉄ときわ台駅への円滑な交通手段の確保。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算（うち特定財源）	
1 ときわ台駅前線整備事業	能勢電鉄ときわ台駅までの住民の円滑な交通手段の確保に資する。	37,906	30,054	24,291

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

令和元年度工事に引き続き後期工事として、道路改良（駅前町道整備）工事を行った。

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 有	駅前町道の線形改良。	ときわ台駅前の道路敷面積が絶対的に小さい。
	事業内容 有		
	費用対効果 有		

### 5.総合評価

B

- A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
- B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

今後とも、必要に応じて駅前整備の検討を行っていく。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
建設課  
157p

款	項	目
大事業名 光風台4丁目通路整備事業	土木費 道路橋梁費	道路改良費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]	
	施策	道路の整備改良・維持		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

1.概要	
事業内容	光風台4丁目から川西市大和東5丁目間の通路設置
対象	住民
意図・目的	光風台4丁目から川西市大和東5丁目間の通路設置

2.構成事務事業	小事業名	事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定財源
1	光風台4丁目通路整備事業	豊能町光風台4丁目から川西市大和東5丁目間に幅員4mの通路を設置する。（事故縁越）	0	6,696	6,696

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

川西市大和自治会、光風台自治会、近隣住民との合意形成が図られ、工事を完成させることができた。

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無	広域道路の事業化。	4者協定（川西市、豊能町、川西市大和自治会、光風台自治会）で広域道路についてを記載している。
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

広域道路の事業化へ向けて、関係自治体である川西市と協議を進めていく。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
157p

大事業名	款	項	目
通学路等交通安全整備事業	土木費	道路橋梁費	交通安全施設整備費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画] 交通安全施設の整備箇所200箇所	
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]	
施策		住み続けたくなる住環境の整備		[その他]	
総合戦略					
個別計画		道路反射鏡修繕計画			

### 1.概要

事業内容	通学路に関する交通安全施設の総点検、区画線設置、カーブミラー設置等。
対象	住民
意図・目的	通学路等に関する交通安全の確保。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 通学路等交通安全整備事業	通学路等に関する交通安全施設の総点検を行うとともに必要な交通安全施設の整備を行う。交通安全・防犯の一助となり、安全・安心のまちづくりに寄与する。	19,462	5,388	2,500

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

道路反射鏡修繕計画に基づき、損傷度の高い道路反射鏡の取替工事を行った。

- ・道路反射鏡建替 8基

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	交通安全施設の維持管理費の増。 歩道の幅員が狭隘。	施設の老朽化。 既存不適格。
	事業内容 無	歩道と車道の摺り付け部の段差大。	
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進歩管理 有	施設の更新に対する費用の確保。	予算確保。
	事業内容 無		
	費用対効果 有		

### 5.総合評価

B

- A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

通学路等の交通安全確保のため、関係部局との連携強化。町全体が安全対策に対し積極的に取り組む。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
建設課  
決算書  
157p

大事業名	河川治水対策事業	款 項	目
	土木費	河川費	河川維持費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	安全安心な暮らしの確保		[総合戦略]	
	施策	災害対策の推進		[その他]	
	総合戦略				
個別計画					

## 1.概要

事業内容	準用河川、普通河川の除草・清掃を行う。
対象	住民
意図・目的	ゲリラ豪雨等、過去においては想定できなかった自然災害の増加及びそれに伴う河川環境整備に対する住民要望の増加に応えるため、治水機能を維持・向上させる。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	予算外財源
1 河川治水対策事業	準用河川等の除草・清掃を行うことにより、治水機能を維持・向上させ、近年増加する自然災害を防止に資する。	2,711	2,927	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

準用河川等の適正な維持管理を実施し、住民の安全に寄与することができた。

## 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	有	準用河川以外の水路（旧普通河川）の補修が困難	維持管理に関する予算が極めて少ない
	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進歩管理	有	施設の老朽化	予算的に維持管理補修及びその費用が確保できない
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

## 5.総合評価

B

- A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

## 6.改善の方向性

河川の維持管理に関する交付金等の新設を国・府へ要望していく

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
建設課  
159p  
決算書

大事業名	都市計画策定・運用事業	款	項	目
	業（建設課）	土木費	都市計画費	都市計画費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]
	施策	住み続けたくなる住環境の整備		[その他]
総合戦略				
個別計画				

### 1.概要

事業内容	都市計画街路事業に係る事務の執行。
対象	大阪府都市計画街路事業促進協議会
意図・目的	府内の都市計画街路事業の促進並びに相互の密接な連絡を図る。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 都市計画策定・運用事業	事業促進のための要望及び宣伝広報、都市間相互の連絡調整会議の開催	0	5	5

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から協議会等は書面開催。

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

A	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

--

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
建設課  
決算書  
203p

大事業名	耕地災害復旧事業	款	項	目
		災害復旧費	農林水産施設災害復旧費	耕地災害復旧費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	安全安心な暮らしの確保		[総合戦略]	
	施策	災害対策の推進		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

## 1.概要

事業内容	西日本豪雨（H30.7月）災害にて被災した農地、水路、農道の農業用施設の復旧。
対象	受益者
意図・目的	西日本豪雨（H30.7月）災害にて被災した農業用施設の復旧を図ることにより、耕作者の安定した農作物の確保に資する。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 耕地災害復旧事業	木代農地・水路・農道の復旧工事	87,590	80,894	79,833

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

当該年度は多くの災害が発生したが、ほぼ、年度内に工事が完了し、町内の農業基盤の安定が図れた。  
 ・平成30年災 木代地区土石流災害復旧工事  
 ・令和2年災（農地4件、農業用施設10件）

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	突発的に発生し、その後の対応に時間的余裕がなく、工事については一部翌年度に繰越した。また、件数が多く測量及び査定設計書の業務委託を行った。	職員の不足
	事業内容 有		
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

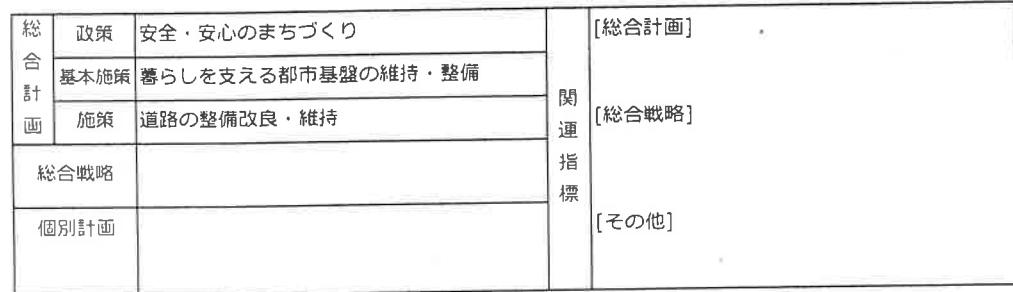
## 6.改善の方向性

農地等管理者には平素から自然災害に対する備えなどの啓発を行うとともに、発生した場合の手続きや災害として認定されるまでの流れを周知する。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
建設課  
205p

大事業名	款	項	目	
			災害復旧費	公共土木施設災害復旧費



### 1.概要

事業内容	被災した公共施設（町道等）の復旧。
対象	住民
意図・目的	被災した公共施設（町道等）の復旧を図り、安全安心なまちづくりに資する。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 公共土木施設災害復旧事業	公共施設応急復旧、北部地震及び西日本7月豪雨に伴う災害復旧工事及び測量業務委託を行う。	0	2,586	2,586

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

H30年度に発生した災害に対し、引き続き本復旧工事を行った。

- 台風20号災害（河川・宮浦川3ヶ所 L=48.0m）

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 有	突発的に発生し、その後の対応に時間的余裕がなく、工事については翌年度に継続した。また、件数が多く測量及び査定設計書の業務委託を行った。国費を活用した災害対応にはマンパワーを必要とする。	職員の不足。災害報告から災害査定までの期間が短いこと。
	事業内容 無		
	雇用対効果 有		
中長期的な課題	進捗管理 無	国費を活用した災害対応に熟知した職員の不足。	職員の不足。
	事業内容 有		
	雇用対効果 無		

### 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

道路や河川等の日頃の定期点検を強化し予防保全の徹底を図る。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
117p

大事業名	交通安全対策事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	交通安全対策費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安全安心な暮らしの確保		[総合戦略]
	施策	防犯・交通安全対策の推進		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要	
事業内容	交通安全の啓発
対象	町全域、全住民
意図・目的	交通安全の確保

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 交通安全対策事業	府、豊能警察署、豊能交通安全協会、自治会等と連携し町内の交通安全の啓発を行う。 春・秋の交通安全運動及び啓発物品配布を含む街頭キャンペーンの実施。 春・秋の交通安全運転講習会の実施。 春・秋の迷惑駐車合同追放パトロールの実施。 高齢者の交通安全対策。	518	485	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から以下の事業中止。

## ●交通安全啓発キャンペーン（春・秋）

春と秋の全国交通安全運動期間中に町内各主要交差点、バス停、並びにスーパーマーケット前等において啓発キャンペーンを実施。

## ●迷惑駐車追放合同パトロール（春・秋）

自治会（主催者）、豊能警察署、消防署、地域交通安全活動推進委員と合同でパトロールを実施。

## ●安全運転講習会の開催（春・秋）

豊能警察署、豊能交通安全協会と合同で講習会を開催。

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	高齢化に伴い、高齢者事故の占める割合が比較的高い。	高齢化の進行。
	事業内容 有		
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進歩管理 有	事業推進側の高齢化も同様の為、事業内容の検討が必要。	同上。
	事業内容 有		
	費用対効果 有		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

警察署、自治会等、各関係機関との一層の連携による啓発活動の継続。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
127p

大事業名	下水道事業特別会計繰出金事業	款	項	目
		衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]
	施策	上・下水道の維持・整備		[その他]
総合戦略		基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		
個別計画				

### 1.概要

事業内容	基準内繰出については、総務省通知「地方公営企業繰出金について」に従い繰り出す。
対象	下水道事業特別会計
意図・目的	下水道事業（浄化槽管理・整備）の円滑な運営を図るため、元利償還金の費用と財源不足分を一般会計から繰り出す。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 下水道事業特別会計繰出金事業（浄化槽管理・整備分）	下水道事業（浄化槽管理・整備）の円滑な運営を図るために、元利償還金の費用と財源不足分を一般会計から繰り出す。	9,602	9,722	0
2 下水道事業特別会計繰出金事業（浄化槽管理・整備分）（臨時）	下水道事業（浄化槽管理・整備）の円滑な運営を図るために、元利償還金以外に係る補てん分として一般会計から繰り出す。	25	25	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・元利償還金に関するもの	5, 134, 704円
・元利償還金以外に係る補てん金	4, 611, 854円
	(9, 746, 558円)

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

A	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

--

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
135p

大項目名	上水道事業補助事業	款	項	目
		衛生費	保健衛生費	上水道費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]
	施策	上・下水道の維持・整備		[その他]
総合戦略		基本目標4 避けることができない未采にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		
個別計画				

## 1.概要

事業内容	①旧簡易水道事業における起債に対する元利償還金の2分の1 ②旧簡易水道事業地方債特別措置分の元利償還金の全額 ③一庫ダム管理負担金のうち都市用水施設税にかかる負担金 ④企業団統合にかかる事業運営補助金（29,500千円×20年）
対象	大阪広域水道企業団豊能水道センター
意図・目的	水道料金に転嫁することが合理性に欠く経費について譲り出しを行い、安定的な企業運営を確保すること

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち指定財源
1 上水道事業補助事業	地方公営企業に対する繰出基準に基づく繰出料金で賄うべき費用のみを対象とした料金設定を行うことにより、水道利用者に対し理解の得られる料金となる。企業団統合時に供給単価上昇を抑制するため、平成31年度より20年間毎年29,500千円を補助する。	88,466	86,106	0
2 新型コロナウイルス感染症対応	新型コロナウイルス感染症対策による水道料金の基本料金の減免	0	42,826	42,825

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・統合前、簡易水道事業債元利償還金	49,274,446円
・統合前、簡易水道事業債元利償還金（臨時措置分）	4,741,304円
・一庫ダム管理負担金固定資産税相当額	2,590,676円
・統合に係る申合せ書による操出金	29,500,000円 (86,106,426円)
・新型コロナウイルス感染症対策	42,825,871円

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

A	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

--

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
都市計画課  
157p

大事業名	公営住宅管理事業	款	項	目
		土木費	住宅費	住宅管理費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施設	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]
	施策	住み続けたくなる住環境の整備		[その他]
総合戦略				
個別計画				

### 1.概要

事業内容	町営住宅の修繕、受水の清掃（委託）等
対象	住民
意図・目的	町営住宅の維持・管理を行い、町内における住環境を整備する 町営住宅の経年劣化

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 公営住宅管理事業	町営住宅の維持・管理を行う。 町営住宅の維持・管理を行うことにより、住環境整備を行い、現在の居住者の満足度の向上に資する。	174	406	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

管理人として、日頃から入居者とコミュニケーションを図り、住宅の不具合に対して適切に維持管理することができた。

また、建築基準法に基づく法定点検や、水道法に基づく貯水槽の清掃と消毒を実施し、入居者の安全・安心に努めることができた。

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無	家賃収入に比べて、維持管理費の支出が大きい。	入居者の収入、住宅の経過年数等により、家賃を算定するため、どうしても安い家賃設定となる。
	事業内容 無		
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進歩管理 有	町営住宅に入居したいなどの問い合わせもない。	・本町の持ち家率が約 9.6 % ・空き室のある町営住宅が利便性の低い場所にある。
	事業内容 有	持ち家率が高い本町では、公営住宅の需要は低い。	
	費用対効果 有	入居募集についてもリフォーム費用が高額になるため、実施していない。 今後の町営住宅のあり方（用途廃止を含む）を検討することが必要。	

### 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

- 余野住宅 4戸（空家 2戸）
  - 吉川住宅 1戸
- については、耐用年数（30年）を超えていたため、現入居者が退去された時点で用途廃止を行い除去する。
- 野間口住宅 16戸については、耐用年数（70年）まで25年残っているが現在2世帯しか入居しておらず、過去に入居募集を5年続けて行ったが応募件数0件であった。また、入居条件を満たす方からの入居に関する問合せも無いため、今後は野間口住宅のあり方について、大阪府と情報交換しながら類似事例等を探り検討する。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
159p

大事業名	建築物管理事業	款 項	目
		土木費	都市計画費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	[総合戦略] [その他]
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備	
	施策	住み続けたくなる住環境の整備	
総合戦略			基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント
個別計画			豊能町耐震改修促進計画

## 1.概要

事業内容	建築基準法等の管理事務、町有建築物の設計監理に係る調整。
対象	住民
意図・目的	建築基準法や建築協定等の適正な執行。 町内に散見される違法建築物件への対処に係る調整

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 建築物管理事業	建築基準法や建築協定等に基づく管理事務を執行するとともに、町有建築物の設計、監理に係る調整を行う。 建築基準法、建築協定等の適切な執行を図るとともに、町有建築物の管理・設計に係る調整を行うことにより都市基盤の維持と整備並びに安心して住まうことができる環境整備に貢献する。	1,084	829	632

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・豊能町耐震改修促進計画等に基づき、民間建築物の耐震性の向上を図るために、耐震化を促進する個別相談会の開催や補助事業を実施し、耐震化を図ることができた。
・建築協定地区での勉強会やクレーム対応の相談にのり、建築協定の普及啓発に努めることができた。
・建築確認申請の経由事務や公共建築物の営繩業務に従事し関係法令の遵守に努めることができた。

## 4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定	
	進捗管理	有			
	事業内容	有			
中長期的な課題	費用対効果	有	①耐震化率の向上 ②建築協定についての理解		
	進捗管理	有	①耐震化率の向上 ②建築協定の更新・廃止		
	事業内容	有	①昭和56年5月以前に建築されている旧耐震基準の家屋の所有者が高齢になっており、今さら高額な費用をかけてまで耐震補強工事をしようという考えが低い。 ②建築協定というルールが地区住民に浸透されていない。		
費用対効果	有	有			

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

旧耐震基準の家屋については、戸別訪問やダイレクトメールなどを送付し、更なる啓発に努める。 耐震セミナーや個別相談会を開催し、リフォームを考えている方にも、安全・安心の耐震リフォームを周知する。 建築協定運営委員会の総会や役員会へ引き続き町も参加し「建築協定とは」をテーマに趣旨説明を行い普及啓発に努める。
--

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
159p

大項目名	下水道事業特別会計繰出金事業	款	項	目
		土木費	都市計画費	都市計画総務費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]
	施策	上・下水道の維持・整備		[その他]
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		
個別計画				

### 1.概要

事業内容	基準内繰出については、総務省通知「地方公営企業繰出金について」に従い繰り出す。
対象	下水道事業特別会計
意図・目的	下水道事業における一般家計の役割を明確にするとともに、同事業の円滑な経営の一助となるよう資金を繰り出す。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 下水道事業特別会計繰出金事業	下水道事業の円滑な経営を図るため、下水道事業における町が負担すべき費用を一般会計から繰り出す。	92,770	83,108	0
2 下水道事業特別会計繰出金事業（臨時）	暗渠等補修工事、使用料激変緩和措置分を一般会計から繰り出す。	5,423	297	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・交付税に関するもの	59,196,976円
・雨水対策	7,233,879円
・児童手当	240,000円
・財源不足補填分	6,257,850円
・高資本費分	1,269,086円
・兼務職員人件費	9,207,300円
	(83,405,091円)

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

A

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができ
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
159p

大事業名	都市計画策定・運用事業 (都市計画課)	款	項	目
		土木費	都市計画費	都市計画費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]	
	施策	住み続けたくなる住環境の整備		[その他]	
総合戦略					
個別計画		豊能町都市計画マスターplan 豊能町空家等対策計画			

## 1.概要

事業内容	都市計画に係る事務の執行及び都市計画審議会の運営。
対象	住民
意図・目的	現在及び将来に向けて適正な都市計画に基づいて魅力ある町づくりを図る。 用途地域に係る制限、市街化調整区域に関する規制等の周知。特に市街化調整区域に関する規制は、「魅力ある町づくり」と相反する関係である。

## 2.構成事業

小事業名	事業概要	事業額(千円)		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 都市計画策定・運用事業	都市計画法等に基づく管理事務を執行するとともに、都市計画審議会の有為的な運営に努める。 魅力ある町づくりと都市計画法等に基づく管理との調整を図るとともに、法規制の的確な執行により、魅力ある町づくりに向けて指針整備を行える。	60	42	42
2 空家対策推進事業	町の空家等対策計画に基づき、危険空家の判断等困難な事業の解決を図る際、有識者に具体に意見を聴取し、最終的に町内でその処理方針を決定する際の判断材料とするもの。	0	6	6

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

大阪府の主催する各協議会等の会議に出席し意見交換すると共に、随時綿密な連携を図ることができた。各種情報収集、知識の習得、事業の相談報告を行うことで事業の円滑な実施に資することができた。

## 4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
	事業内容	有		
中長期的な課題	費用対効果	有	市街化区域での用途地域の見直し	本町の市街化区域は、住宅地として開発が進み、商業系が不足している。そのため、住民は買い物などに車で近隣市への移動を余儀なくされ町内にお金が回らない。開発当初の世帯が若いころはベッドタウンでも良かったが、高齢化が進みベッドタウンではなくなり利便性が求められている。
	進捗管理	有		
	事業内容	有		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

企画部局などと連携し、上位計画の見直しの際に、企業誘致や用途地域の見直しについて、具体的なイメージを盛り込むよう調整する。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

		所属名 決算書	都市計画課 161p	
		款	項	目
大事業名		公園・緑地・街路樹等管理事業	土木費	都市計画費
総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	[総合計画] [総合戦略] [その他]	
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		
	施策	住み続けたくなる住環境の整備		
	総合戦略			
個別計画				

### 1.概要

事業内容	公園・緑地の環境整備、街路樹等の維持管理
対象	住民
意図・目的	住民の日々の暮らしに対し、自然とのふれあいにより生まれる快適、安らぎ、満足を提供する。 緑地の樹木、街路樹の巨木化、落葉対策とそれに対する住民要望への対応

### 2.構成事業

事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち持定期
公園・緑地・街路樹等管理事業	除草、剪定等による公園、緑地、街路樹等の維持管理（ときわ台、東ときわ台、光風台、新光風台、希望ヶ丘）・公園等の美化意識の啓発・直営による除草及び剪定作業で発生した刈り草や剪定枝等の有効活用（チップ化、堆肥化による）・公園等の占用物件について、占用料を徴収し、事業財源の安定化を図る。・魅力ある町づくり、住みたい町への一助となる。	45,617	51,139	0
公園管理備品賃替事業（100万円未満）	-除草、剪定等による公園、緑地、街路樹等の維持管理（ときわ台、東ときわ台、光風台、新光風台、希望ヶ丘）・公園等の美化意識の啓発・直営による除草及び剪定作業で発生した刈り草や剪定枝等の有効活用・魅力ある町づくり、住みたい町への一助となる。	0	212	0
支障木伐採業務委託事業	支障木を除去することにより、自然災害を未然に防ぎ、安全性、利便性の向上を図る。落葉の害、支障木の敷地内侵入に対応することができ、住み続けたくなり住環境整備に寄与できる。	2,000	2,222	0
公園遊具修繕事業	町内公園における遊具及びフェンス等を修繕し、公園内の環境を整備する。公園の遊具に起因する事故等を未然に防止することで、公園内で安心して過ごすことができるようになり、日々の暮らしに安らぎをもたらすことができる。	1,693	2,125	0
公園・緑地整備事業	公園・緑地の適正管理を行い、事故や自然災害の防止を図る。住民に想いや快適な環境を提供し、住み続けたくなる町づくりに資する。	10,761	35,341	21,015

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

緑地・公園の除草清掃及び低木高木の剪定を行い、町内の良好な景観を維持するとともに、家屋や通行に支障となる立木や枯れ木の伐採、被災箇所の補修を行い、安全・安心で快適な暮らしの継続に努めた。
公園内の遊具等の計画的な補修を行い、安全で安心して遊べる空間の確保に努めた。

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	①緑地帯の樹木の高木化、老朽化	①宅地開発から長年が経ち、植栽されている樹木も大きくなり、官民境界の越境、根による舗装の不陸、台風などによる倒木など維持管理に多額の費用が必要
	事業内容 有	②緑地や公園内への無断植樹	②③近隣住民の勝手な判断によりかえって維持管理負担が増加
	費用対効果 有	③公園内の形質の無断変更	
中長期的な課題	進歩管理 有	住宅地周辺緑地の立木の伐採等の検討	樹種等（桜など）により、住民の反対があり、その都度の対応を迫られ、かえって維持管理の負担が増える。
	事業内容 有		
	費用対効果 有		

### 5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることができた B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	--

### 6.改善の方向性

付近住民への更なる清掃等の協力 ・自治会に平素からの緑地・公園管理事業について啓発を図る。
支障木伐採計画に基づき優先度の高い樹木から順次伐採し、倒木などによる家屋災害を未然に防止し、合わせて維持管理費の軽減を図る。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
163p

事業名 大事業名	公共施設等花いっぱい運動 推進・支援事業	款 土木費	項 都市計画費	目 公園費

総合計画 関連指標	政策 安全・安心のまちづくり	[総合計画]
	基本施策 暮らしを支える都市基盤の維持・整備	
	施策 住み続けたくなる住環境の整備	[総合戦略]
		[その他]
総合戦略		
個別計画		

1.概要	
事業内容	公共施設等花いっぱい運動の支援。
対象	住民
意図・目的	町の美化、住民の心の癒しを提供する。

2.構成事務事業		事業概要	事業費（千円）		
小事業名	事業内容		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 公共施設等花いっぱい運動推進・支援事業	花と緑の町「とよの」のシンボル運動として、公共施設等花いっぱい運動を住民主体の活動として支援する。本運動の推進により、住民に心の癒しを提供することができる。また、副次的な効果として、町道の美化ボランティアとしての活動も期待できる。		239	240	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

移植用 plugs 苗の導入、花の種（秋用、冬用）の購入。土（肥料）の購入。  
花いっぱい運動の賛同者、グループへの支援を行った。

## 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の 課題	進歩管理 事業内容 費用対効果	有 有 有	<ul style="list-style-type: none"> <li>育苗施設、花壇修繕予算の確保</li> <li>花ボランティアメンバーの実態把握</li> <li>花泥棒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修繕の必要性及び老朽化</li> <li>管理されていない花壇が目立つ</li> </ul>
	進歩管理 事業内容 費用対効果	有 有 有	<ul style="list-style-type: none"> <li>育苗施設、花壇修繕予算の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修繕の必要性及び老朽化</li> <li>グループメンバーの高齢化</li> </ul>
	進歩管理 事業内容 費用対効果	有 有 有		
中長期的 な課題	進歩管理 事業内容 費用対効果	有 有 有		
	進歩管理 事業内容 費用対効果	有 有 有		
	進歩管理 事業内容 費用対効果	有 有 有		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

光風台育苗施設の定期点検による予防保全

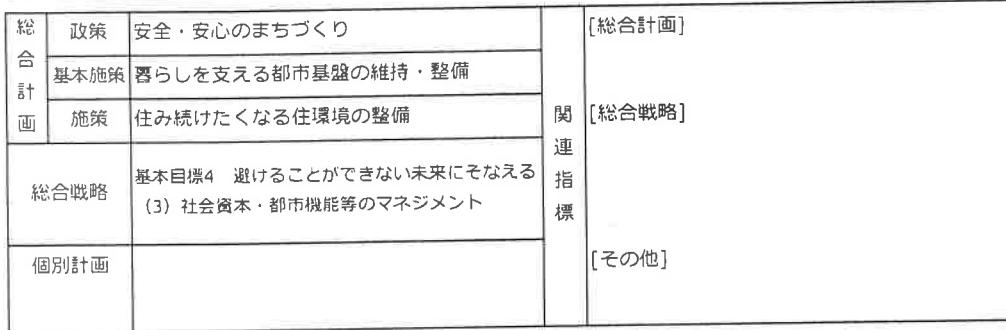
育苗施設のビニールの張り替え

花壇等維持管理協定書の書き直し

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
都市計画課  
163p

大事業名	自転車駐車場管理事業	款	項	目
		土木費	都市計画費	自転車駐車場運営費



### 1.概要

事業内容	自転車駐車場（光風台・ときわ台・妙見口の各駅前）の運営。
対象	自転車駐車場利用者
意図・目的	適正な自転車駐車場を管理するため、施設の修繕や設備の保守管理を行う。

### 2.構成事業事務

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 自転車駐車場管理事業	自転車駐車場の管理	858	509	0
2 光風台自転車駐輪場再整備事業	現在利用の光風台自転車駐車場（調整池上）を閉鎖し、第2・3自転車駐車場へ移転するための実施設計	0	2,695	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

光風台自転車駐車場において、経年による老朽化により継続しての使用が困難な状況となっていることから、代替施設として第2駐車場（現在閉鎖中）及び第3駐車場を再整備することとし、そのための基本設計及び実施設計を行った。

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 有	新たな自転車駐車場の整備に伴い閉鎖される光風台自転車駐車場の維持管理。	当該施設の取壊しや利活用等、今後の取扱いに関する方針が定まっていないため。
	事業内容 有		
	費用対効果 有		

### 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

令和3年度は新たな自転車駐車場の整備工事を実施予定。課題となっている閉鎖後の光風台自転車駐車場の取扱いについて、利活用や処分等を検討していく。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

都市計画課

163p

大事業名	自転車駐車場運営事業	款	項	目
		土木費	都市計画費	自転車駐車場運営費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略]
	施策	住み続けたくなる住環境の整備		[その他]
総合戦略		基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		
個別計画				

1.概要	
事業内容	自転車駐車場（光風台・ときわ台・妙見口の各駅前）の運営。
対象	自転車駐車場利用者
意図・目的	自転車駐車場利用者に、安全・安心に利用してもらうことを目的とする。

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 自転車駐車場運営事業	自転車駐車場の運営	3,359	2,794	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

各自転車駐車場における日常的な運営を業務委託するとともに、直営による施設の利用状況を確認する等、適正な運営を行った。

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 有	閉鎖中及び今後閉鎖される自転車駐車場の維持管理。	当該施設の取壊しや利活用等、今後の取扱いに関する方針が定まっていないため。
	事業内容 無		
	費用対効果 有		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

今年度も日常的な運営は業務委託にて対応する。課題となっている閉鎖された自転車駐車場の今後の取扱いについて、利活用や処分等を検討していく。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 都市計画課  
決算書 205p

大事業名	款 項 目		
	災害復旧費	公共土木施設災害復旧費	公園施設災害復旧費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	[総合計画] [総合戦略] [その他]
	基本施策	安全安心な暮らしの確保	
	施策	災害対策の推進	
総合戦略			
個別計画			

### 1.概要

事業内容	緑地の災害対策工事
対象	住民
意図・目的	被災した緑地の仮復旧工事を行う。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち補正財源
1 公園施設災害復旧事業	令和2年7月豪雨により被災した、光風台6丁目17番地の緑地の仮復旧工事を行う。	0	109,930	106,764

### 3.主な成果（実績や事業のいい、意図・目的の達成度）

崩落した土砂や構造物を速やかに撤去し、住民の安全安心を確保した。
----------------------------------

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

A

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができた
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

--

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書農林商工課  
139p

大事業名	労働支援事業	款	項	目
		労働費	労働諸費	労働諸費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	人権尊重のまちづくりの推進		[総合戦略]	
	施策	男女共同参画社会の形成		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

1.概要	
事業内容	・勤労者を対象とした雇用・就労に関して、大阪府と連携した支援の展開及び障害者の雇用問題等に関する「障害者雇用相談」の実施
対象	・勤労者、障害者及びその関係者、事業主 等
意図・目的	・「障害者雇用相談」の充実並びに就労困難者の雇用・就労の促進を目的とする。

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 労働支援事業	・ハローワーク、大阪府総合労働事務所等との連携 ・地域障害者雇用相談の実施 ・豊能・三島地域就労活性化事業の実施 ・労働者及び未就労者の支援	208	201	83

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】	
障害者雇用相談	実施日時 第3水曜日（4・5・1月を除き9回実施） 13:00~17:00 場所 保健福祉センター 相談件数 2件
とよの地域若者サポートステーション就労相談	実施日時 11月24日(火) 13:00~15:20 場所 保健福祉センター 相談件数 1件

## 4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
	事業内容	無		
中長期的な課題	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
	事業内容	無		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

令和元年度より、雇用・就労・労働相談事業を廃止し、とよの若者サポートステーション就労相談会を開催している。 令和3年度以降も事業を継続し、とよの若者サポートステーション就労相談会の開催を予定している。
---

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
139p

大事業名	シルバー人材センター支援事業	款	項	目
		労働費	労働諸費	労働諸費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	[総合計画] [総合戦略] [その他]
	基本施策	安心できる福祉の充実	
	施策	高齢者福祉の充実	
総合戦略		基本目標4 避けることができない未未にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント	
個別計画			

### 1.概要

事業内容	シルバー人材センターへ補助金の交付及び貸付を行う。
対象	シルバー人材センター
意図・目的	高齢者の勤労意欲と住民のニーズを結びつけるシルバー人材センターの活動を支援し、もって高齢者の就業機会の増大を図る。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 シルバー人材センター支援事業	シルバー人材センターへの支援として、補助金の交付及び貸付を行う。	5,922	5,922	2,000

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●シルバー人材センターへの補助金 3,922,000円

●シルバー人材センターへ運営資金貸付 2,000,000円

●シルバー人材センターの状況

・会員の状況  
会員数（R3.3.31現在） 男 104人 女 25人 計 129人  
平均年齢 男 73.5歳 女 71.0歳 計 73.0歳  
就業延べ人数 7,809人

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無	就業延べ人数の減少	新型コロナの影響による依頼件数の減
	事業内容 有		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無	安定的な運営	財政状況が脆弱
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

自立した運営に近づけるための団体の経営努力が必要。（営業活動等）

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
農林商工課  
139p

大項目名	農業委員会運営事業	款	項	目
		農林水産業費	農業費	農業委員会費

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施設	環境を活かした農林業の振興		[総合戦略]	
	施策	農業の振興		[その他]	
	総合戦略				
個別計画					

1.概要	
事業内容	農地法に関する農地行政の執行、農地等の利用の最適化を図るため、農業委員会の運営を行う。
対象	町内の農地及び農地所有者・農業従事者
意図・目的	農地等の利用の最適化を推進し、農地制度に関する業務執行の全国的な統一性・客觀性を確保する。

事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 農業委員会運営事業	・農地法等に関する業務 ・農地の権利関係の調整、土地利用の調整 ・農業、農業者の代表機関としての業務 ・農地パトロール ・耕作放棄地の解消による農業の振興	2,516	2,542	64
2 農地台帳システム 年度間更新事業	基幹系システム切替に伴う農地台帳の年度間データ 更新プログラム作成（住基・税情報システム入替に 伴う）	0	880	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

## 【実績】

【構成】 農業委員会数：14名 農地利用最適化推進委員：4名（令和3年3月31日現在）

農業委員会の開催状況：原則月1回開催 計 11回（令和2年度）

農地パトロールの実施：8月18日～9月9日の間に延べ8日間

令和2年度に遊休農地から耕作地へと活用された農地の面積

田：31,562m<sup>2</sup> 畑：1,032m<sup>2</sup> 計 32,594m<sup>2</sup>

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	遊休農地の増加	新規就農者が営農しているものの、農業従事者の高齢化と担い手不足による遊休農地が依然増加傾向にある。
	事業内容 有		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 有	同上	今後も農業従事者の高齢化と担い手不足の問題は避けられない。
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

農地法等によりその権限に属させられた事項（農地の売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申、遊休農地に関する措置など）について適正な農業委員会の運営を行いつつ、地域農業従事者、中間管理機構（みどり公社）及び行政等の連携による遊休農地の解消に取り組む。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
141p

款	項	目
大事業名 農業関係団体等支援事業	農林水産業費	農業費 農業振興費

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	環境を活かした農林業の振興		[総合戦略]	
	施策	農業の振興		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

### 1.概要

事業内容	農業団体及び農業振興事業に対する補助事業
対象	農業振興事業を行う農業団体等
意図・目的	負担金及び補助金の交付による農業関係団体等の活性化と、地域農業の振興に寄与することを目的とする。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 農業関係団体等支援事業	町農業団体及び農業振興事業に対する補助及び支援、並びに負担金の拠出	1,403	1,174	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

#### 【実績】

府農空間整備推進協議会負担金	20,000円
能勢栗振興会負担金	35,000円
府北部農業共済組合負担金	819,000円
共同作業場運営補助金	150,000円
町土地改良区運営補助金	150,000円

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

A	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

--

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 141p

大事業名	農業振興事業	款 項	目
	農林水産業費	農業費	農業振興費

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画] 認定農業者数 23名
	基本施策	環境を活かした農林業の振興		[総合戦略]
	施策	農業の振興		[その他]
総合戦略		基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (2) 次世代につながる農業の活性化		
個別計画		豊能町農×観光戦略推進計画		

## 1.概要

事業内容	農業関係全般に係る事務。認定農業者、新規就農者の育成、支援。 農地流動化、集積化の推進。
対象	農業関係者
意図・目的	農業振興全般に係る業務の円滑な推進を図る。 新規就農者等への支援、認定農業者数の拡大を目指すとともに、農用地利用集積を図る。

## 2.構成事務事業

事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 農業振興事業	・農業関係全般に係る事務 ・農業從事者、新規就農者、認定農業者の相談・支援 ・生産意欲の向上、高収益化の推進 ・農地貸借希望者間の調整	96	122	0
2 青年等就農給付金交付事業	・地域農業の担い手として、青年等就農計画の認定を受けた新規就農者に対して、農業経営を支援するための給付金を支給する。 ・青年の就農意欲の喚起を図り、青年就農者の増大を図る。	3,000	3,000	3,000
3 とよの就農支援塾事業	・就農を目指す方に、講義・実習を交えた野菜の生産技術・経営管理等について研修を行い、地域農業の担い手を育成する。 ・新規就農にあたってのフォローを行う。	2,905	2,948	2,948
4 新規就農者農業用機械等購入補助事業	・町内農地の利用権設定等をしている（または見込まれる）新規就農者に対し、農業の生産性の向上及び農業経営の安定化を図ることを目的に農業機械等購入の一部を補助する。	0	1,564	1,564

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

## 【実績】

- ・認定農業者数： 23名
- ・青年等就農給付金受給者数： 2名
- ・就農支援塾受講者数： 7名（開校日数31日/年）
- ・年度内に新規就農に至った者の数： 2名
- ・新規就農促進安定事業補助件数及び金額： 7件 1,264,000円
- ・景観作物栽培推進事業補助件数及び金額： 1件 300,000円

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	遊休地の増大 農作物の高収益化	後継者問題（高齢化、担い手不足問題） 生産者の意識改革（特化した農作物の栽培）
	事業内容 有	上記を解決するための施策の遂行	財政面での問題
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 有	遊休農地を作らないための仕組みづくり	後継者問題（高齢化、担い手不足問題）
	事業内容 有	安定した農産物流通ルートの確立	農産物供給量の安定が必要
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

B

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができ  
B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

## 6.改善の方向性

町内農業の振興には、新規就農者の参入と農地所有者には遊休農地を貸すという機運の醸成が必要であると考える。  新規就農者を育成し、農業に参入してもらうことで、町内遊休地の解消と農業の活性化が期待できる。 新規就農には初期投資（機械、設備）を要することから、農業参入促進を図るために一定の支援が必要である。現農業從事者に対しても生産性向上、生産規模拡大を促すため、ビニールハウス設置等への支援があれば、一層の農業振興が期待できる。  また地域によっては、農業経営を地域の集落営農法人に委ねる方法も考察する必要がある。 上記を進めると同時に、農産物をお金に変える仕組み・直売所の活性化、流通ルートの開拓等が必要。
---

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
141p

大項目名	農×観光戦略推進事業 (農業)	秋	項目 農業関	農業振興課
------	--------------------	---	-----------	-------

総合計画	政策 活力のあるまちづくり 基本施策 環境を活かした農林業の振興 施策 農業の振興	関連指標 [総合計画] [総合戦略] 特產品を使用した新規商品開発数 3商品 [その他]
総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (2) 次世代につながる農業の活性化	
個別計画	豊能町農×観光戦略推進計画	

### 1.概要

事業内容	豊能町農×観光戦略推進計画の推進
対象	農業関係者及び関係団体、地縁団体、NPO法人等
意図・目的	豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプランに基づく農×観光戦略推進計画を実現するため、豊能町産農産物のブランド化や基本目標である地域の資源を仕事とお金にかえることを目的とする。

### 2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 農業用園芸ハウス設置補助事業	年間を通しての農産物の生産安定化及び品質の向上を図るため、町内の直売所等へ出荷することを条件に農業用園芸ハウスの設置等にかかる費用の一部を補助する。	2,220	1,548	0
2 農業法人設立支援事業	農業法人等の設立を目指し、直売所「志野の里」の運営を支援する。	3,730	3,394	3,393
3 農官学連携事業	豊能町特産のヤーコンの効能の研究	0	2,959	2,959

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

#### [実績]

- ・農業用園芸ハウス設置補助件数及び金額： 11件 1,548,000円
- ・ヤーコンの効能についての臨床研究
- ・志野の里（直売所運営協議会）の売上額  
令和2年度 22,398,741円  
〔令和元年度 18,521,396円  
平成30年度 14,319,294円〕

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	生産能力の強化	出荷者、出荷量の増が必要
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 有	農産物販売拠点の再整備と農産物の安定供給	現直販所の規模の問題と生産力アップもしくは生産者の増が必要。
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

B

- A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要  
B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

引き続き、農×観光関連事業を推進するとともに、農産物販売拠点（志野の里）の拡充・生産力強化・販売拡大に取り組む。
--

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
農林商工課  
決算書  
143p

大事業名	棚田・ふるさと保全事業	款	項	目
		農林水産業費	農業費	農地費

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]  農業体験事業参加者数（延べ）800人	
	基本施策	環境を活かした農林業の振興		[総合戦略]	
	施策	農業の振興		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

## 1.概要

事業内容	棚田保全活動、棚田景観のPRや都市住民との交流を通じて、地域の活性化を図るための補助事業 (高山、牧地区)
対象	保全事業参加者
意図・目的	棚田保全事業グループの活動を支援し、地区内遊休農地の再生、草刈等の維持保全活動の推進を目的とする。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち16定期預
1 棚田・ふるさと保全事業	・遊休農地の再生、棚田の保全を行う団体への補助 ・棚田保全活動を通じ、棚田景観のPR、都市住民との交流、地域の活性化を図る。	600	600	600

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

## 【実績】棚田保全3団体への補助

農のふるさと協力隊	実施状況	月4回	338人
高山地区	実施場所		
棚田管理チーム	実施状況	月4回	504人
高山南地区	実施場所		
牧棚田保全チーム	実施状況	年4回	41人
牧地区	実施場所		

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進歩管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

## 5.総合評価

A

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができ  
B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

## 6.改善の方向性

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 143p

大事業名	農空間保全事業	款	項	目
		農林水産業費	農業費	農地費

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	環境を活かした農林業の振興		[総合戦略]
	施策	農業の振興		[その他]
総合戦略				
個別計画				

### 1.概要

事業内容	農地・農業用水路・農道・ため池等の地域資源の保全活動を行う経費への交付金
対象	保全活動を行う団体
意図・目的	農地・農業用水路・農道・ため池等の地域資源の適切な保全管理を行うことを目的とする。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業質（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 農空間保全事業	農用地、水路、農道等地域資源の維持を図るため、保全活動を行う団体に対し、その経費を支援する。	494	494	371

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】	対象団体数：1団体（牧農空間守ろう会）
対象面積	16.5ha
活動内容	水路の泥上げ・草刈りなど 農用地法面など草刈りなど 電気柵設置など 獣害柵点検修理など
106人	142人 82人 24人
延べ参加人数	1,094人 うち、農業者以外572人

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無	各地区への普及拡大	事業採択のハードルが高い
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

大阪府との連携により、取組地域の拡大を図る。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
143p

農林商工課

大事業名	ほ場整備事業	款	項	目
		農林水産業費	農業費	農地費

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	環境を活かした農林業の振興		[総合戦略]	
	施策	農業の振興		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

1.概要	
事業内容	牧地区ほ場整備事業の事業計画（換地計画原案）の作成
対象	大阪府土地改良事業団体運合会
意図・目的	・農業生産性の向上、生産コストの低減 ・農業構造の改善、食糧供給力の確保

2.構成事務事業		事業概要			事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち持定期間			
1	牧地区ほ場整備事業	牧地区のは場整備事業の実施において、令和4年度実施予定のは場整備工事を行うための事業計画（換地計画原案）作成	3,589	3,190	2,472		

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

## 【実績】

牧地区換地計画原案の策定

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

A	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

--

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
143p

款	項	目
大事業名 経営所得安定対策等推進事業	農林水産業費	農業費 経営所得安定対策等推進事業四

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	環境を活かした農林業の振興		[総合戦略]	
	施策	農業の振興		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

### 1.概要

事業内容	経営所得安定対策等事業の実施と普及推進
対象	農業関係者
意図・目的	諸外国との生産条件の格差から生ずる不利の補正と農業経営のセーフティネット対策を実施し、担い手農家の経営の安定に資する。 また、戦略作物の本作化を進め、水田をフル活用し、食料自給率・食料自給力の維持向上を図る。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特正財源
1 経営所得安定対策等推進事業	農業経営のセーフティネット対策と出荷販売のための戦略作物、高収益作物に対する助成事業の事務。	855	732	732

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

#### 【実績】

令和2年度 地域戦略(推奨)作物作付面積：23,097m<sup>2</sup> (11人)  
(令和元年度：12,200m<sup>2</sup>)

収入減少影響緩和交付金の申請をした者の数：3人  
(令和元年度： 3人)

### 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	無	水田活用の直接支払交付金の申請が少ない。	制度の周知不足及び交付対象作物の飼料用米や加工用米の需要がないことが要因である。
	事業内容	有	水稻作付に代わる野菜等の畑作が進んでいない。	野菜等の畑作化についても農業従事者の高齢化及び担い手不足、獣害などでなかなか推進できていない。
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進歩管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

### 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

制度の周知徹底を図る。

大阪工コ農産物や地域振興拡大作物及び豊能町特産のヤーコンの生産の拡大を図ることで農業生産面積の拡大につなげる。併せて、遊休農地や保全管理のみの不耕作地の解消にもつなげる。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 145p

大事業名	コミュニティセンター管理事業	款	項	目
	農林水産業費	農業費	農業費	コミュニティセンター運営費

総合計画	政策 活力のあるまちづくり 基本施策 にぎわいを呼ぶ産業の振興 施策 商工業・観光交流の振興	関連指標	[総合計画]
総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごとお金にかえる (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出		[総合戦略] 地域資源を活用したイベント等への参加者数 15,000人
個別計画	豊能町農×観光戦略推進事業		[その他]

1.概要	
事業内容	高山コミュニティセンターの運営を指定管理により行う。
対象	コミュニティセンター来館者
意図・目的	指定管理による民間のノウハウを活用し新たな事業に取り組むことにより、都市と農村の交流を図るとともに、多くの来館者が訪れるようなコミュニティセンターの運営を行うことを目的とする。

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 コミュニティセンター管理事業	民間の能力を活用し、地元の特徴を活かす各事業を展開するため、指定管理者制度により高山コミュニティセンターの管理運営を行う。	5,227	5,135	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】	・利用日数 : 279日
	・延べ利用者数 : 5,604人
	・イベント開催状況 : 6月28日 ジャガいも掘り＆ドローン操縦体験 43名
	9月13日 稲刈り体験＆ドッヂビー遊び 34名
	10月18日 さつまいも掘り＆「おととえ座」による影絵鑑賞会 75名
	11月22日 ごぼう掘り体験 43名
	*例年は月1回程度のペースでイベントは行っているが、昨年は新型コロナウイルスの影響で開催回数が4回のみとなった。

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	指定管理業者と協力し積極的なPRを更に展開・推進することが必要	集客については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に減少した。同感染症の影響下、指定管理者との協力とPRについて、更に連携を強化することが必要。
	事業内容 有		
	費用対効果 有	設備の更新	施設の老朽化
中長期的な課題	進歩管理 無	高山コミュニティセンターの中長期的な運営	観光施策に沿った、適切な運営の必要性が生じる。
	事業内容 有	設備の計画的な更新	施設の老朽化
	費用対効果 有		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

指定管理者と協力し、高山地区の観光戦略に寄与すべく、効果的なPR展開を検討・実施する。 中長期的な運営については、観光施策と整合させながら適切に施設運営を行う。
---

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
農林商工課  
145p

大事業名	森林管理事業	款	項	目
		農林水産業費	林業費	林業総務費

総合計画	政策	豊かな自然景観・田園風景が生きるまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	良好な景観の保全		[総合戦略]
	施策	水と緑の環境保全		[その他]
総合戦略				
個別計画				

### 1.概要

事業内容	森林等の自然環境の保全を行うとともに、鳥獣の保護・管理に関する事業を行う。
対象	森林及び鳥獣
意図・目的	自然環境の保全、水資源のかん養等の多様な公益的機能の管理振興を図るために、関連団体に参加するとともに、鳥獣保護法に基づく生物の保護・管理を目的とする。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 森林管理事業	・森林及び鳥獣の管理に関する事務 ・地域森林計画対象民有林の適正な管理運用 ・鳥獣の保護及び狩猟の適正化	196	239	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

#### 【実績】

- 府治山治水協会負担金 20,000円
- 日本さくらの会賛助会費 5,000円

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

A

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができ  
B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
農林商工課  
147p

大事業名	森林整備事業	款 項 農林水産業費	目 林業費	林業総務費
総合計画	政策 基本施策 施策	活力のあるまちづくり 環境を活かした農林業の振興 林業の振興	[総合計画] 人工造林面積 令和2年度 1,115ha [総合戦略]	
総合戦略				
個別計画	豊能町特定間伐促進計画		[その他]	

## 1.概要

事業内容	森林の有する多面的機能を発揮させるため、間伐等の森林整備を行う。
対象	森林及び所有者
意図・目的	森林の整備を推進することにより、森林の持つ公益的機能の高度発揮、資源の充実及び林業生産性の向上を図る。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 森林整備事業	森林整備（間伐）の実施	1,936	1,980	990

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

## 【実績】

## 森林整備地域活動支援事業

事業内容	実施場所	間伐面積	事業費
間伐	川尻、余野	5.51ha	1,980,000円

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	森林経営意欲の低下による森林の荒廃	林業の担い手不足、所有者の高齢化
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 有	・人的資源の不足による森林の荒廃 ・それに伴う災害の発生の危険性の増加	林業の担い手不足、所有者の高齢化、所有者不明の山林の増加
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

**B**

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができない
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

## 6.改善の方向性

森林組合、大阪府等との連携を図り、有効な補助制度を活用するなど健全な森林育成・保全に努める。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
147p

事業名	野生鹿、猪等農林業被害防止事業	款項	自
		農林水産業費	林業費
			林業総務費
総合計画	政策 活力のあるまちづくり	[総合計画]	
基本施策	環境を活かした農林業の振興	[総合戦略]	
施策	農業の振興	[その他]	
総合戦略			
個別計画	豊能町鳥獣被害防止計画		

### 1.概要

事業内容	農林業に被害を与える有害鳥獣（イノシシ・シカ・アライグマ・ヌートリア）の捕獲を行う。
対象	農林業従事者等
意図・目的	有害鳥獣の生息頭数の適正化を目指した捕獲を推進することで、農林業被害の防止を図ることを目的とする。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 野生鹿、猪等農林業被害防止事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>生息頭数の適正化を目指した有害鳥獣の捕獲</li> <li>シカ・イノシシ用の捕獲権を被害の多い農家に貸出、農林業被害の軽減を図る。</li> <li>狩猟免許の講習会の費用の100%を補助し、有害鳥獣捕獲資格者の増員を図る。</li> <li>獣害柵設置の費用の50%を補助し、有害鳥獣からの農林業被害の軽減を図る。</li> </ul>	4,942	4,990	740

### 3.主な成果（実績や事業の状況、感想・目的の達成度）

#### 【実績】

##### ・有害鳥獣捕獲実績

イノシシ	50頭
シカ	125頭
アライグマ	20頭
ヌートリア	0頭

・シカ・イノシシ用捕獲権貸出件数： 3件

・アライグマ用捕獲権貸出件数： 19件

・獣害柵設置補助件数： 16件 (514,000円)

・有害鳥獣捕獲従事者数： 21人 (R3.4現在)

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 有	鳥獣被害の継続と有害鳥獣捕獲従事者の後継者不足	有害鳥獣の増加と有害鳥獣捕獲従事者（獣友会会員）の高齢化
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 有	同 上	同 上
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

B

- A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

有害鳥獣の捕獲並びに防護柵設置は進めているものの、依然農林業への被害は絶えない状況である。

農林業被害を最小限に留めるため、有害鳥獣の生息頭数の適正化に努める必要がある。よって、引き続き有害鳥獣捕獲に関する施策の継続が必要である。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書農林商工課  
147p

大事業名	内水面事業	款	項	目
		農林水産業費	水産業費	水産業費

総合計画	政策	豊かな自然景観・田園風景が生きるまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	良好な景観の保全		[総合戦略]
	施策	水と緑の環境保全		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要	
事業内容	河川を利用した町民の環境保全意識啓発イベントの開催、及び東能勢漁業協同組合の活動に対する支援
対象	町民、並びに東能勢漁業協同組合
意図・目的	河川への关心及び環境保全への意識の高揚、並びに内水面漁業の振興を図ることを目的とする。

2.構成事務事業		事業概要			事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源			
1	内水面事業	・鮎の放流、つかみ取り体験の実施 ・東能勢漁業協同組合の運営、活動に対する補助	317	14	0		

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

## 【実績】

あゆ放流・つかみ取り体験事業  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止

余野川清掃

実施日 令和2年9月26日、令和3年3月20日  
実施場所 余野川女美尾橋下流

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無	後継者不足	組合員の高齢化
	事業内容 有		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無	漁業組合の今後の事業方針	同上
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

将来的には、観光施策の推進の一助となるような事業を検討していく。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 農林商工課  
決算書 149p

大事業名	商工事務事業	款	項	目
		商工質	商工質	商工総務質

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	にぎわいを呼ぶ産業の振興		[総合戦略]
	施策	商工業、観光交流の振興		[その他]
	総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (3) 新しい地域のしごとづくりへの支援		
個別計画				

### 1.概要

事業内容	商工会への補助事業のほか、中小企業融資に関する事務や工場立地法等に関する事務を行う。また、新たに事業を始める創業（予定）者に対し、地域の活性化や定住化を図るための補助を行う。
対象	商工業者、及び新規創業（予定）者
意図・目的	商工業の振興を図るために、商工会との連携や活動支援を行い、町内商工業者の経営基盤の強化を図るとともに、町の活性化に向けて新規創業者の誘引と安定化を図る。

### 2.構成事務事業

事業番号	事業名	事業概要	事業費（千円）		
			R01決算	R02決算	うち特定期間
1	商工事務事業	・商工業の振興施策に係る企画及び調整 ・商工に関する事務、商工会への補助事業 ・大阪府中小企業融資に関する事務 ・商工会法、工場立地法等に関する事務	3,681	3,678	0
2	地域しごと創生スタート支援事業	町内における創業を促進し、産業振興、雇用の創出及び町の活性化を図るため、町で創業しようとする者に対し、創業に必要な経費の一部について補助を行う。	5,000	1,000	0
3	お買い物補助券支給事業	新型コロナウイルス感染症の影響により負担が増えた家計への支援と併せて、売上が減少した町内店舗を応援することを目的に『とよのんお買物クーポン券』（1人：3,000円分）を配布する事業。	0	58,396	58,396

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

#### 【実績】

- ・町商工会への補助金： 3,678,000円
- ・新規起業者への補助金交付件数： 1件（1,000,000円）
- ・お買い物補助券支給：  
配布人数： 19,138人  
配布枚数： 114,838枚（1人当たり6枚配布・@500円）  
利用枚数： 109,167枚  
利用率： 95.1%

### 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進歩管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

### 5.総合評価

A

- A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要  
B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

--

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
149p

大事業名	観光事務事業	款	項	目
		商工費	商工費	商工総務費

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	にぎわいを呼ぶ産業の振興		[総合戦略]
	施策	商工業・観光交流の振興		[その他]
	総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出		
個別計画	農能町農×観光戦略推進計画			

1.概要	
事業内容	町外からの観光人口の増加による地域の活性化を図るために、観光協会をはじめとする観光団体を支援する。また、近隣観光協会との連携を図り、町外での活動を活性化する。
対象	観光客、観光協会
意図・目的	町民及び町外の来訪者に対して、話題性のある観光事業を展開し、本町の魅力を効果的に発信していく必要があるため、観光協会が実施する観光案内事業、観光ボランティアガイド養成事業、観光資源の発掘や観光振興に基づく事業を支援することにより交流人口が増えるまちづくりを目指す。

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 観光事務事業	・町観光事業の推進、町観光協会との連携 ・大阪府、大阪観光局との連携 ・近隣市町との広域連携事業、町観光地整備及び観光の展開	1,890	1,432	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

【実績】	
大阪観光局負担金	30,000円
妙見口駅トイレ維持管理負担金	422,216円
町観光協会補助金	974,489円

## 4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
	事業内容	有		
中長期的な課題	費用対効果	無	農×観光戦略事業との連携	道の駅構想に代わる観光拠点計画の立案・整備。 観光ルートの開発については、東西間の移動手段が乏しいことがネックとなっている。
	進捗管理	無		
	事業内容	有		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

農×観光戦略推進事業と連携することにより、町のPRを推進する。
---------------------------------

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
151p

大項目名	農×観光戦略推進事業 (観光)	款 商工費	項 商工費	目 商工総務費
------	--------------------	----------	----------	------------

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	にぎわいを呼ぶ産業の振興		[総合戦略]
	施策	商工業・観光交流の振興		[その他]
総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出			
個別計画	豊能町農×観光戦略推進計画			

### 1.概要

事業内容	観光を中心とした交流人口の増加による地域の活性化を図るため、本町の歴史的・文化的遺産にゆかりのある市町村等との連携体制を深める。
対象	観光客
意図・目的	本町の歴史的・文化的遺産を再認識し、交流人口の増加による地域の活性化を図る。

### 2.構成事業事務

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 観光戦略支援事業	本町の歴史的・文化的遺産にゆかりのある市町村等との連携体制深化に係る費用	1,450	37	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

#### [実績]

連携体制深化に向けた協議を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響により協議は行えなかつた。

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無	事業（右近サミット）の企画立案	関係市町村が遠方であるため、協議が容易ではない。
	事業内容 有		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

B

- A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
- B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

関係市町村と協議を行う。

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
農林商工課  
151p

大事業名	休業要請支援事業	款	項	目
		商工費	商工費	商工総務費

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	にぎわいを呼ぶ産業の振興		[総合戦略]	
	施策	商工業・観光交流の振興		[その他]	
	総合戦略				
個別計画					

## 1.概要

事業内容	休業要請の対象事業者に対する支援金の支給
対象	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う休業要請の対象事業者
意図・目的	休業要請の対象事業者の経営を支えることを目的とする。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算（うち特定財源）	
1 休業要請支援事業	休業要請の対象となった事業者への支援金を給付 中小企業：1,000,000円 個人事業主：500,000円	0	7,750	7,750

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

## 【実績】

支給件数 法人：6件 個人：19件 支給金額 法人：6,000,000円 個人：9,500,000円

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

A

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができない
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

## 6.改善の方向性

令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
151p

大事業名	休業要請対象外支援事業	款	項	目
		商工費	商工費	商工総務費

総合計画	政策	活力のあるまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	にぎわいを呼ぶ産業の振興		[総合戦略]	
	施策	商工業・観光交流の振興		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

1.概要

事業内容	新型コロナウイルス感染症の拡大により、経営に大きな影響を受けた町内の事業者等に対して、事業継続のために支援金を支給
対象	町内に事業所を有し、「大阪府休業要請外支援金」の支給を受けた事業者
意図・目的	新型コロナウイルス感染症の拡大により、経営に大きな影響を受けた町内の事業者等の事業継続を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		R01決算	R02決算	うち特定財源
1 休業要請対象外支援事業	経営継続のための支援金を給付 中小企業：150,000円 個人事業主：100,000円	0	7,600	7,600

3.主な成果（実績や事業のねらい、意図・目的の達成度）

【実績】

支給件数 中小企業等：18件 支給金額 中小企業等：2,700,000円  
個人事業主：49件 個人事業主：4,900,000円

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進捗管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

5.総合評価

A

- A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要  
B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

## 令和2年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
75p

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

歳入歳出に関する出納業務に関すること、会計書類の審査に関すること、電送による一部事務の簡素化。歳入歳出決算書の調製について、適正に事務を執行できた。  
主な経費：指定金融機関派出事務手数料（本庁・支所）4,000,000円

大事業名	会計管理事業	款	項	目
総合計画		総務費	総務管理費	会計管理費
政策	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり		[総合計画]	
基本施策	安定的な行財政運営の推進		[総合戦略]	
施策	持続可能な財政運営		[その他]	
総合戦略				
個別計画				

1.概要	
事業内容	町の歳入及び歳出に関する事務について、財務会計システムを介して適正な審査・帳票処理を行う。歳入歳出決算書の調製を行う。
対象	歳入歳出に関する出納業務、指定金融機関
意図・目的	会計書類の適正な審査・帳票処理の執行を行い、収入支出事務を適正に執行する。

2.構成事務事業		事業概要	事業費（千円）	
小事業名	R01決算	R02決算	うち特定財産	
1 会計管理事業	現金、保証金及び有価証券の出納保管に関すること 現金及び財産の記録管理に関すること 支出負担行為の確認や支出命令等の審査に関するこ と 歳入歳出決算書等の作成に関するこ と 源泉徴収所得税に関するこ と その他会計管理者の事務に関するこ	4,589	4,699	0

## 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の 課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的 な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

## 5.総合評価

A	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

--